

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 日 作成

事務事業名		スポーツフェスティバル開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1507
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	1
		1	10	6	11	10772		コスト削減優先度評価結果	12
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	旧町で行われていた町民体育祭に変わる事業。15種目を包括した体育祭です。市主催「各地区対抗アジャタ大会のみ事業費がかかる。 合併により以前、旧町で行われていた町民体育祭に変わる事業として開始した。 ・合志市でも旧町で行われていたような体育祭を行うかどうかの検討をおこなったが、人口に対する開催場所の問題、地区対抗に係る旧町単位での構成の違いなど課題が多く今回のフェスティバル開催に至っている。
【業務の流れ】	各種目協会の大会→体育協会種目団体に協力を呼びかける。開催する団体に(体育協会より)補助金を交付する。各地区対抗アジャタ大会→開催要項等の検討、各区への参加呼びかけ、備品・賞品の準備、会場の準備、大会の開催、後片付け
【主な予算費目】	報償費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・共催された体育協会種目協会からは開催場所が無料になる、広報などを市が行ってくれるなどメリットが大きいという意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) / 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
10月に開催。団体競技及び市主催「各地区対抗アジャタ大会」を開催。	10月に開催。団体競技及び市主催「各地区対抗アジャタ大会」を開催。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 競技種目 (単位) 団体	⇒ ア 参加者数 (単位) 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒ ア 市民及び在勤者 (単位) 人
市民および市内在勤者	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
市民、在勤者の健康増進、親睦融和を図る。	⇒ ア 参加率 (単位) %
	⇒ イ

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
 市民の健康増進と親睦を目的としているので、できるだけ多くの市民が参加することが望ましいため。また、健康と親睦は数値化することができないため。

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 団体		14	14	15	15	16	16	16
	イ 人		2527	2136	2811	2557	2867	2943	3021
⑤ 対象指標	ア 人		53951	54352	55117	54747	55144	55544	55947
	イ								
⑥ 成果指標	ア %		4.7	3.9	5.1	4.6	5.2	5.3	5.4
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	93	105	136	104	136	136
	(A) 事業費計	千円	93	105	136	104	136	136	136
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	5	6	5	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	61	61	90	60	90	90	90
	(B)人件費計	千円	242	244	358	239	358	358	358
	トータルコスト(A)+(B)	千円	335	349	494	343	494	494	494

総トータルコスト
 全体計画
 ~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

事務事業名	スポーツフェスティバル開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

開催時期である10月は多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策